

令和7年2月12日

◆鈴木ひでし委員

何点か聞かせてください。

第1点は、私立学校の中の専修学校、これは専門学校も含まれるんですかね。

◎私学振興課長

専修学校については、いわゆる名称として専門学校と名乗っているところと、専修学校の高等課程ってありますので、いずれも含まれます。

◆鈴木ひでし委員

専修学校と書かれていて、これは実際の伝達というか、お知らせはどのようにされているんですか。

◎私学振興課長

基本的にはメールで、もしこれが議決された場合には、速やかに事務連絡等を流しまして、交付申請についてのお知らせを流しております。

◆鈴木ひでし委員

特に私が心配しているのは、この専修学校という書き方、これは当然、新聞等々でも出てくるんでしょうけど、その中に果たして自分たちが入っているかどうかという、専門学校の方たちの不安というのは、それなりにあると思うんだよね。これ、きちっとやっぱ、ある意味で分けしないで、当然含まれるということとは私も分かって聞いているんだけど、きちっとやっぱしていただきたいという思いがありますので、ひとつよろしくお願いしたいと思います。

2点目は、私、病院関係なんだけれども、特に、先ほどの医療整備・人材課長の答弁だと、具体的に病院協会等々を通じてという話があったけれども、具体的に、例えば無床の診療所だとか施術所、こういうようなところの前の、要するに執行は、どのような状況だったんですか。

◎医療整備・人材課長

執行の状況でございますが、ちょっと今、施設ごとの執行の状況というのは承知していなくて、令和5年度でしたらば、上半期、下半期やっているんですけれども、これ全体の数字になりますけれども、令和5年度上半期については85.8%、それから下半期が87.9%、こういった状況になっております。施設別の数字は、今持っていない状況でございます。

◆鈴木ひでし委員

私、ちょっと心配しているのは、こういう今、先ほど、ある意味、支援団体の方々の質問をされたけど、特にあんま・はり・きゅうとかいう方たちに対する、私は情報というのは、本当に行っているのかなと。

実は、私も経験があるんだけど、去年もやりましたよね。あのときやっぱり、存じ上げないところって結構ありましたよ。具体的にお会いして、御協力をいただいて、ホームページ等々にも載っていたんで、こういう申請をというようなやり方をさせていただきました。

私、少なくとも、特に医療関係のほうは、プッシュ型でしっかり、やっぱり送付してさしあげないと、ある程度きちっとした事業所として登録されているはずですから、私、プッシュ型の新しい時代を築いていただかないと、こういうふうにざくっと出して、これこれこうですと言うけれども、そりゃ大病院や中小の病院等々は、きちっとしたそういうものあるかもしれないけど、具体的な、先ほどから出ているように、事務方の方がいらっしゃらないところというのは、本当に、それこそ作業やりながら申請をというようなおつらい立場の方が、すごくやっぱりいらっしゃるわけですよ。

こういうところで、具体的にどういうような、いつまで、そして、こういうものがありますよということを受ける受けないというのは、相当違うんじゃないかと思いますが、今後踏まえていただけますかね、そういうことを。

◎医療整備・人材課長

確かにおっしゃるとおり、多くの医療機関、それから小規模のところも当然ございます。そういった、できるだけ支援金、少ない手続でやるような、負担が少ない形でできるような、こういったことも考えて、それから周知につきましても、そういったところを工夫して、できるだけ多くの方にこちらのほうを知っていただいて申請していただく、そういった形でやっていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◆鈴木ひでし委員

もう一遍、私ちょっと、具体的なことを聞いて恐縮だけど、これ申請ってどんなものなの。私、書類は見たことはあるんだけど、そこに何か何々を添付しろとか、ああでもないこうでもないとあるじゃん。そういうので、何があるんですかね。書類だけは見たことあるんだけどさ、それ以外、すごく、現場の方から言わせると、要は添付書類というか、それを一々出さなきゃならないものというのが大変にしんどいという、要するに要望が出ているのよ。これ、どんなふうに考えますか。

もちろん行政のほうだから、きちんとした書類がないのに、分かりました、はい、ということはないでしょうけど、当然、ある程度きちっと、医療機関でしたら、それなりの審査を経て、資格なり何なりきつと持っていらっしゃるところに、今さらこうです、ああですというのは、これもらうというのはいかななものかなと私も思ったものですから、いかなものですか。

これ、一般、それこそ県民の方々からの何々というのは、私、分かるんだけど、そこら辺の書類の、なるべく簡略化を併せてお願いしたいと思いますが、いかがですか。

◎医療整備・人材課長

確かに施術所等につきましては、診療報酬を受けているような、そういった内容が分かる書類だとか、そういったことも出していただいているようなことがあります。そういったことは、これからまた申請していただける、できるだけ簡便にできるようなところ、こういったところをできるかと、それはまた工夫していきたいと思います。

◆鈴木ひでし委員

本当に現場の方々は、県民の方々も、電気代等々もひっくるめた物価高騰については、大変ひどく苦しんでいらっしゃる中で、せつかくここまでの予算をやっぱりつくったのであるならば、県民の方々に、資格がある方に、しっかりとした予算が届くようなことをぜひとも考えていただいて、執行していただきたいと思います。